

(表題) 丹波少年自然の家 に関する陳情書



[陳情理由]

野外活動施設は子どもたちの「生きる力」を育むことのできる貴重な場です。

子どもたちは野外活動を通じて感受性が豊かになり、コミュニケーション能力や探求心などの「非認知能力」を身につけ、健康的な心身の発達に寄与することは明らかです。

しかしながら子どもたちが生きる現代の社会では、ネットやテレビから学ぶ間接体験や疑似体験が圧倒的に多くなり、体験が不足しているのが現状です。

また近年子どもたちの教育格差、体験格差が問題視されている中、新型コロナウイルス感染症の影響でさらに格差が顕著になりました。

未来ある子どもたちが社会を生き抜く力を育むため、公共施設、丹波少年自然の家の存続を求めます。

[陳情事項]

① 丹波少年自然の家の存続を求めます。

② 組合での運営が難しい場合、指定管理等、別の運営方法で自然の家を活用し、子どもたちの自然体験の場の存続を求めます。

2023年 4月 25日

芦屋市議会議長 あて

(個人で提出する場合)

陳情者 住所

明石市本町

ふりがな

たけなか まなみ

氏名

タケ中 愛美

(団体で提出する場合)

陳情者 住所

ふりがな

団体名

ふりがな

代表者名